

令和元年度 政策対話における意見等への対応

【お問い合わせ・意見等】

健康福祉部障がい者支援課

E-mail

shogai-shien@pref.nagano.lg.jp

【健康福祉部：共生社会づくりについて】

<趣旨>

障がいの有無に関わらず、誰もがお互いに理解し合える「共生社会づくり」の実現を目的とした条例の制定に向け、障がい者の差別解消を図る仕組みや共生社会実現のための取組等について

政策対話当日の意見	意見等への対応（予算要求公表時）
<p>障がいのある方との交流について</p> <ul style="list-style-type: none">・地域には様々な意欲ある方々がいるが、それらを繋いでコーディネートする人の存在が重要。また、SNSを活用して情報発信を続けることが効果的。・障がいのある児童を分けるのではなく、小さい頃から自然な形で交流していくことが、障がい理解には重要。障がい者の地域生活移行も同様で、障がい者も高齢者も当たり前と一緒に暮らす、ごちゃまぜの社会がいい。・障がいのある人となない人を区別することが壁を作っている。・障がいに対する理解があり、安心できる場所があればよい。・一緒にできる環境・経験が大切。お互いの良さを理解する。・養護学校と地域社会との交流が少なく、地域社会とのつながりがまま卒業。・障がいのある方が外に出ることにより、関わる機会につながる。・一緒に居ることで学ぶこともある。「交流」ではなく、「一緒にいる場」を。・偏見ではなく、「違い」を認め、「個性」を認める。・普段から障がいのある方を見慣れると違和感がなくなる。・障がい者が参加しやすい行事がもっと地域に増えると嬉しい。・聞こうとしてくれる人がいれば、コミュニケーションができるようになる。・いろいろ用意され過ぎると逆に困る。・小さい頃から地域の人に知ってもらおう。	<p>○ご参加いただいた皆様がそれぞれの発言に耳を傾け、互いを理解し合おうとする柔らかな雰囲気づくりにご協力いただいたことで、実のある対話が実現しました。ご意見を踏まえ、共生社会づくりの実現を目指して、以下の施策に取り組みたいと考えております。</p> <p>○障がいのある人もない人も、学びを通じて誰もがお互いに尊厳を重んじて支え合い、心豊かに地域で安心して暮らすことができる長野県づくりを進めるため、「長野県障がい者共生社会づくり条例（仮称）」を制定し、共生社会の実現を目指します。</p> <div data-bbox="1144 938 2085 1102"><p>【長野県共生社会づくり体制整備事業 8,028千円】</p><ul style="list-style-type: none">・障がい者共生社会づくり推進員等による相談体制及び周知活動の強化・「合理的配慮マニュアルブック」等の作成・多様な広告媒体を活用した積極的な周知活動の実施</div> <p>○障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）を目指し、多様な障がいの特性、必要な配慮等を理解して、障がいのある方にちょっとした手助けや配慮を实践する「信州あいサポート運動」を推進します。</p> <div data-bbox="1144 1241 2085 1445"><p>【信州あいサポート運動推進事業 3,627千円】</p><ul style="list-style-type: none">・あいサポート運動とヘルプマークの普及啓発・「あいサポーター」（支え手）の育成及び運動継続の強化・あいサポートメッセンジャーの養成・派遣・「あいサポート企業・団体」の認定</div>

政策対話当日の意見		意見等への対応（予算要求公表時）
障がいのある方との交流について	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも自分が発揮できる場所が大切。 ・周囲が変われば「障がい」という壁がなくなる。 ・エレベーターや多目的トイレなど、バリアフリーのための設備は充実してきたが、当事者目線が欠けていて、ちょっとした配慮が足りず、使いにくいことがあり残念。 	<p>○パラスポーツをツールとして年齢や障がいを超えた人々の交流を図り、共生社会を実現するとともに、地域で障がい者がスポーツに親しむことができる環境を整備します。</p> <div data-bbox="1144 347 2069 488" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【パラウェーブNAGANO推進事業 58,294千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツ文化づくり事業 ・みらいアスリート育成支援推進プロジェクト事業 </div>
自分が明日からできること（やれること）	<ul style="list-style-type: none"> ・できない事を受け入れる。 ・特別扱いはしないこと。 ・当事者や経験者の話を聞ける場に参加する。 ・障がい者との交流イベントがあることを発信していくことが大切（SNS等）。 ・ICTを活用しながら障がいにも興味を持ってもらいたい。 ・相手を否定せず、まずは受け入れる。 ・当事者の意見をもっと聞く機会を増やしていくべき。 ・先入観を持たず意見を聞く。 ・「いろいろな人がいて当たり前」との思いを伝える。 ・相談できる場所、交流できる場所をつくっていく。 ・行政も、関係者や団体などにもっと頼ってほしい。相談されれば、何とかしたいという意欲のある人は必ずいる。 	<p>○障がい者の優れた芸術作品を県民が鑑賞する機会と障がい者が文化芸術活動に参加する環境を整備し、障がい者の社会参加の促進と共生社会の実現を図ります。</p> <div data-bbox="1144 651 2069 791" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【障がい者文化芸術振興事業 21,536千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の芸術作品展「ザワメキアート展」の開催 ・障がい者芸術文化活動支援センターの設置 </div>